

「ファラオの夢」

2021年06月16日

今から七年の間、エジプト全土に大豊作が訪れます。しかしその後、飢饉が七年続き、エジプトの地に豊作があったことなどすっかり忘れられてしまうでしょう。飢饉がこの国を滅ぼしてしまうのです。(創世記 41 章 30 節) そしてファラオが指示して、国中に監督を任命し、豊作の七年の間、エジプトの地で産物の五分の一を徴収なさいますように。(創世記 41 章 34 節)

ヨセフが、献酌官と料理長の夢解きをした後、2 年が過ぎた。エジプトの王ファラオは同じ日に、奇妙な二つの夢を見た。一つは、ナイル川のほとりに立っている夢である。七頭の美しい肥えた雌牛が川から上がって来て、葦の原で草を食んでいた。すると、その後から、醜く痩せた別の七頭の雌牛が川から上がって来て、岸辺の雌牛のそばに立った。そして、醜く痩せ細った雌牛が、美しく肥えた雌牛を食い尽くした。ファラオは、そこで目を覚ました。再び眠って、二つ目の夢を見た。よく実った七つの穂が一本の茎から伸びていた。すると、その後から、痩せ細って東風で干からびた七つの穂が生えてきて、痩せ細った穂が、よく実った七つの穂を飲み込んでしまった。ファラオは、そこで目を覚ました。

朝になって、ファラオは胸騒ぎがして、人を遣わしてエジプトの魔術師と賢者を全て呼び寄せた。ファラオは自分の見た夢を彼らに語ったが、それを解き明かすことができる者は誰もいなかった。その時、ヨセフの夢解きによって釈放された献酌官がヨセフのことを思い出し、ファラオに、「私は、今日になって自分の過ちを思い出しました」と申し出て、自分の経験を語った。ファラオは自分と料理長に対して憤られ、親衛隊長の屋敷の監獄に入れられた。同じ夜、私も彼も、隠された意味を持つ夢を見ました。そこには、親衛隊長の僕であるヘブライ人の若者がいて、彼に話したところ、私たちの夢を解き明かした。そして、彼の解き明かしの通り、私は元の仕事に戻り、料理長は木に掛けられました、と。

ファラオは人を遣わし、ヘブライ人の若者ヨセフを直ちに地下牢から引き出した。ヨセフは髭を剃り、衣服を着替えてファラオの前に出た。ファラオは、「私は夢を見たのだが、それを解き明かす者がいない。聞くところによれば、あなたは夢の話聞いて、解き明かすことができるようだ」と問うた。ヨセフは、「私ではありません。神がファラオに平安を告げられるのです」と、解き明かしは私ではなく、神の王へのみ告げであると答えた。

ファラオは、二つの夢について話した。ヨセフは、これを聞いて、「ファラオの夢は一つです。神がこれからなさろうとしていることを、ファラオにお告げになったのです」と言い、夢の解き明かしをした。七頭のよく太った雌牛、七つのよく実った穂は七年のことで、その後から上がってきた七頭の痩せた醜い雌牛、痩せて東風で干からびた七つの穂も七年を指している。今から七年の間、全土に大豊作が訪れる。しかしその後、飢饉が七年続き、豊作のことなど、すっかり忘れられてしまい、この国を滅ぼしてしまうほどの飢饉に見舞われる。ファラオに夢で二度も繰り返されたのは、神によって定められ、神が速やかに実行しようとしているからである。今すぐ、聡明で知恵のある人物を捜し出して、国中に監督を任命し、豊作の七年の間、産物の五分の一を徴収なされるように、エジプトの地を治めさせるとよい。これから訪れる七年の豊作の間に食料を集めさせ、ファラオの管理の下に、穀物を蓄え、保管させる。その食料は、七年後に起こる七年の飢饉に備えての国の蓄えとなり、国が滅びることはない、と。